

# そよかぜだより

募金の使い道についてご質問がありました

## 「新施設整備のため」の貴重な資金です

そよかぜの募金活動についてもご協力をいただいている賛助会員の方から、募金の使い道についてご質問をいただきました。たしかに今のそよかぜの会計の仕組みでは、決算書や予算書などの書類を見ても募金の使い道が分かりにくい内容になっています。みなさま方の善意のお金ですから、だれが見てもすぐ分かるような内容にしたいと、いま検討しています。新年度の予算ではその内容がお知らせできると思います。とりあえず現状の会計の仕組みの中で説明させていただきます。

みなさまからいただいた募金は、そよかぜの本部会計に収入として入ります。本部会計は、ひばり園、あおぞら、くれよん、つくしの家、ほほ

えみ館などの事業会計とは違って各事業に属さず、そよかぜがNPO法人として活動していくために必要な事業をまとめた会計です。主な収入は募金、会員からの会費、資源回収の収入、くれよんの収益などです。

本部会計は幸いに毎年黒字決算が続いています。つまりその年度の収入から必要経費を差し引いてもお金が残る状態です。残ったお金は「次年度繰越金」となります。この繰越金は年々増え続けて、18年度決算では1千万円を少し超えました。実はこのお金が、いまそよかぜが進めている新施設整備計画と共に社会福祉法人となって活動する際に必要な運用自己資金になります。国庫補助対象事業とし

て認めてもらうためには自己資金は少しでも多い方が有利になります。

ただ一般に「繰越金」といえば、余ったお金、無くてもよい余分なお金という意味に誤解されるおそれもありますので、これを改め「新施設整備のためのお金」であることがだれでもすぐ分かるようにしたいと検討しているところです。

### オレンジ色の「そよかぜ行き」のチラシについて

羽村団地の資源回収は毎月第二と第四月曜日に行っています。事前にそよかぜだよりを全戸にお配りして中にオレンジ色の「そよかぜ行き」と書いたチラシを2枚折り込んでいます。先日、団地にお住まいの方から「1枚は半分は切って2枚に使えるので1枚はムダになる、回収が2回なら1枚

第69号  
発行 2008. 2. 17  
毎月1回発行  
NPO法人  
障害者団体連絡会  
そよかぜ  
<http://www.mmjp.or.jp/soyokaze/>  
連絡先  
ひばり園 578-0855  
FAX 578-0466  
くれよん 578-2575  
つくしの家 578-0855  
あおぞら 570-6110  
(お問い合わせ)  
資源回収時のご連絡は「ひばり園」へ

## ご協力ありがとうございました。

1月の募金	56,650円		
19年4月~20年1月の合計	449,449円		
様	渡辺 甫子	様	渡辺 甫子
様	大内 たま子	様	大内 たま子
様	田中 明子	様	田中 明子
様	増田 一仁	様	増田 一仁
様	宇津木 忠雄	様	宇津木 忠雄
様	袴田 実	様	袴田 実
様	石堂 孝一	様	石堂 孝一
様	野崎 敬雄	様	野崎 敬雄
様	関村 理	様	関村 理
様	関村 英希	様	関村 英希
様	阿部 郁子	様	阿部 郁子
様	関谷 博	様	関谷 博
様	小沢 達子	様	小沢 達子
様	長谷川 キヌ子	様	長谷川 キヌ子
様	関谷 孝子	様	関谷 孝子
様	本間 正彦	様	本間 正彦
様	中根 雪江	様	中根 雪江
様	桜沢 喜作	様	桜沢 喜作
様	平野 嘉子	様	平野 嘉子
様	田中 稔	様	田中 稔
様	川崎 利男	様	川崎 利男
様	匿名様 (3,608円)	様	匿名様 (3,608円)
様	とまと美容室 トキ子	様	とまと美容室 トキ子
様	石井 信行	様	石井 信行
様	臼井 妙子	様	臼井 妙子
様	加部 時三	様	加部 時三
様	大野 元雄	様	大野 元雄
様	森田 勝	様	森田 勝
様	清水 賢	様	清水 賢
様	清水 知子	様	清水 知子
様	山崎 六雄	様	山崎 六雄
様	橋本 亜紀子	様	橋本 亜紀子
様	斉藤 忠	様	斉藤 忠
様	竹内 照夫	様	竹内 照夫
様	清水 キヨ子	様	清水 キヨ子
様	尾又 恭子	様	尾又 恭子
様	角野 進	様	角野 進
様	田村 由親子	様	田村 由親子
様	田村 千佳	様	田村 千佳
様	吉野 満里子	様	吉野 満里子
様	ベアソンカワノ エイ・アイ	様	ベアソンカワノ エイ・アイ
様	関谷 和子	様	関谷 和子
様	榑土佐電業社 様	様	榑土佐電業社 様
様	高橋 典子	様	高橋 典子
様	島田 博司	様	島田 博司
様	帯刀 進	様	帯刀 進
様	山下 暉枝	様	山下 暉枝
様	井上 誠一	様	井上 誠一
様	宇津木 牧夫	様	宇津木 牧夫
様	濱野 岬	様	濱野 岬
様	村野 理子	様	村野 理子
様	天満 喜代子	様	天満 喜代子
様	北野 浩美	様	北野 浩美
様	古沢 奈保美	様	古沢 奈保美
様	下田 コウ	様	下田 コウ
様	榎本 正代	様	榎本 正代
様	松岡 竹子	様	松岡 竹子
様	角野 克子	様	角野 克子
様	土屋 三枝子	様	土屋 三枝子
様	渡辺 四郎	様	渡辺 四郎
様	山影 幸子	様	山影 幸子
様	永岡 智恵子	様	永岡 智恵子
様	小山内 男治	様	小山内 男治
様	関谷 達夫	様	関谷 達夫

ご連絡は、ひばり園へ  
羽村市五ノ神2-6-7  
042-578-0855

くれよん1月の売上げ  
750,120円でした。

羽村市内の小学校と中学校の生徒のみなさんが、各学校単位でプルトップ収集にご協力して下さっています。ありがとうございます。

NPO法人 そよかぜの

## 《資源回収》に

ご協力をお願いします  
新聞、雑誌、ダンボール

(ボロは扱っていません)

この収益は「つくしの家」の運営資金などになります。1月は27,700円でした。金額は554,904円となりました。みなさまのご協力ありがとうございました。

3月は第3日曜日16日です。

大雨の場合は、次週の日曜日に順延します。

ギョーザ事件からひばり園が学ぶこと

## こんなところにも中国の影響力

よい影響は古紙単価、マイナスは働く場の縮小

中国製の冷凍ギョーザによる中毒事件で、いま日本中が大さわぎになっています。新聞もテレビも連日、ニュース

といえどこればかりという状態です。そんな中で、このギョーザを作った天洋食品という会社の従業員の記事がありました。それによると1日十三時間働いて月給は日本円にして約1万〜1万2千円だそうです。これを時間給にするると一時間当たり40〜50円になります。

さて、ひばり園で働いている利用者の時間給は平均で約350円です。つまり障害者でない天洋食品の従業員の約七倍の給料になります。人件費にこれだけ大きな差があると何をやるにしても、けた違いに安いコストで出来ることがよく分かります。いまでは一般の工業製品に限らず食品にいたるまで、日本で作る製品はコスト的には中国製品に

太刀打ちできない状況になっているようです。

とはいっても中国のことですから、まさかひばり園に影響があるとは思いませんでした。ところがここに来てそうでもないことが分かってきました。まず直接影響があったのが古紙の単価です。そよかぜが資源回収で集めている古紙の単価が今年に入って二割程度値上がりしました。原因は中国です。いまや世界の工場といわれる中国では、大量の工業製品を世界中に輸出しています。輸出しているのは製品だけではなくダンボールも一緒です。輸出したダンボールは輸入によって海外から回収しないと中国内だけでは賄いきれないのです。いわば資源回収の国際版です。地球規模の資源回収をいま中国はものすごい勢いで行っていて、ダンボール原料

となる古紙を買い集めています。そよかぜが取引をしている集積会社(株)宮崎の話によると「国内取引より輸出の方が高く売れるので、古紙問屋はみんな中国へ廻している」ということです。そのため国内の古紙供給量が不足して値上がりしました。「この傾向はまだまだ続く」そうです。かつて数年前に日本国内だけでは古紙が飽和状態となつて、こちらがお金を払わなければ古紙を引き取ってもらえないマイナス単価の時もあったことを考えると、本当に恐ろしいほどの中国の影響力です。

古紙単価の値上がりは、そよかぜの収入が増えるわけですから、この点だけを考えれば私たちにとってはありがたい影響です。しかしもう少し視野を広げて、障害のある人が働く作業所としてもっと基本的な部分に目を向けてみると、中国の力はじわーと目に見えない形でひばり園に深刻な影響を与えていることが分かります。

十年ほど前のことですが、知的障害のある二人の女性がひばり園に来ました。二人は

青梅の縫製工場で働いていましたが会社が倒産して行くところがなくなりました。倒産の原因は、親会社が安い労働力を求めて中国の工場へ行ったので仕事がなくなったのです。日本の産業の中で中国の影響で最初に大打撃を受けたのは縫製業でした。ユニクロは価格破壊といわれる低価格の衣料販売で急成長しましたが、その原動力は中国の労働力でした。「外国の安い人件費をカンズメにして売っている」といわれました。日本の縫製業はバタバタと消えていきました。実はその縫製業こそ障害者の最大の就職先だったので。二人の女性はミシン縫いを覚えて一生懸命働いていました。

最近では、中度の知的障害がありながら七年も小さいダンボール工場で働いてきた男性が失職してひばり園にきました。工場の社長は「日本のダンボール業界はもうおしまいだ」と嘆いていたそうです。障害がある人の就職先として、高度な知識や技術を要する先端産業は手が届きません。また細やかな人扱いを要する

サービス業も壁が厚過ぎます。もっとも適した職種は単純な作業を根気よく繰り返す製造業です。ひばり園でしているベアリング組立てなどの仕事もそのような作業です。しかしいま、日本の製造業は人件費の安い外国との勝負に直面しています。資金力のあるところは海外進出して、ないところは消えていくしかありません。このことは、日本では障害者が働く場がどんどん狭くなっていることを意味しています。

ひばり園がベアリング作業を会社(当時の株光洋精工・現ジェイテクト)から初めて受注した頃のこと、同じ製品を会社ではタイの工場が生産する計画でした。試行したところ現地は高温多湿のため日本に着いた製品にはサビが発生して生産を断念しました。おかげでひばり園は絶好の仕事に有りつけました。あの時もタイ生産がうまくいっていたら、ひばり園の姿はいまより大きく変わっていたでしょう。

ではもし、中国の会社がサビの問題も解決してベアリン

グ組立てをするとしたらどうなるでしょうか。その時にはひばり園は中国の会社と勝負になりませんが、到底勝ち目はありません。これはあくまでも仮定の話ですが、しかし今後その可能性がゼロと言いつけるのでしょうか。

グローバル化の波にのってすべての経済活動は国際的規模になっています。外国の会社の動きがそのままひばり園の活動に影響を与えることも決しておおげさではなくなりました。工業製品、おもちや、衣類、食品その他、私たちの身のまわりは中国製品であふれています。ベアリングだけがその波を被らないですむでしょうか。輸送技術の発達で中国で作った品物が次の日には日本の工場に届く日も遠くはないでしょう。

障害のある人の働く場と利益を考えると、このような時代の流れを無視するわけにはいきません。こんご必ず襲ってくる荒波を乗り越える方法とアイデアを、今から真剣に模索するように、その心構えを持つようにと、ギョーザ事件が教えてくれました。